Hailey

1.2

Loudspeaker System

Owner's Manual

■ 目次

■ **はじめに**

このたびは YG Acoustics 社　Hailey™をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

2012 年末、YG Acoustics 社 10 周年を鮮烈なデビューで飾った　新フラッグシップモデル　Sonja™。
その卓越したパフォーマンスをより身近に御体験戴けるモデルとして Hailey™は開発されました。
Sonja™に投入さる革新的技術、そしてワールド・クラスのインダストリアル・デザイン、製造精度はそのまま Hailey へと継承されています。
卓越した技巧とクラフトマン・シップにより産み出される Hailey の再生能力は、フラッグシップモデルに匹敵する程の驚異的ソニック・パフォーマンスを達成しています。

YG Acoustics の名を世に知らしめた唯一無二の技術である”位相“そして”周波数“の両特性の同時最適化術「Dual Coherent」を筆頭とする Hailey™へ投入された革新的技術、その概要を紹介させて戴きます。

「Billet Core™　ドライバー　ユニット」

ミッド・ウーファ、ウーファの各ユニットには自社開発/生産による Billet Core™テクノロジーが用いられています。
そのドライバーは航空機グレードアルミニュウムの塊（Billet）より、精巧に削り出されます。
独特な工程によって生み出される他に類を見ない堅さ（強度）、精確性を併せ持つこのドライバーの超低歪は、圧倒的に卓越したダイナミクス、音楽の繊細さを実現したのです。

「Forge Core™　ツイーター-ユニット」

YG　Acoustics のアイデアがふんだんに盛り込まれた Forge Core™を採用。
自社内にてモーター・システムを3D－CNC カッティングする事で、ジオメトリーを大幅に改善。
この工程は、ツイータ・ユニットへ驚くべき歪み率の向上とスムースは高域再生をもたらしました。

「Dual Coherent™　クロスオーバー・ネットワーク」

Hailey™含む全ての YG　Acoustics 社製品に搭載されるクロスオーバー・ネットワーク回路は、ヨアヴ・ゲヴァによって生み出された独自のソフトウェアにより産み出されます。
Dual Coherent™と命名されたこの回路は、最適な周波数特性と位相特性を共有しています。
一般的（YG を除く全て）なネットワーク回路では、周波数特性（こちらが多数派）もしくは位相特性のいずれかの優先の選択を余儀なくされます。
YG Acoustics の持つこのソフトウェアのみが、周波数特性と位相特性を同時に最適化する事が可能にしたのです。

「Toro Air™　インダクタ」

さらにこのネットワーク回路に使用されるパーツ郡へも一切の妥協を排除しています。
搭載される自社開発 Toro Air™インダクタは CNC ワインディングマシンを駆使して、自社生産されます。
トライダル・コア構成からなるこのインダクタは、通常クロスオーバー回路にて避けて通れないクロストークを完全に排除する事に成功しました。

「Focused Elimination™ キャビネット」
エンクロウジュアへ使用される素材の質量、面積そして硬度を分析し、エネルギー損失する事無くキャビネット共振をコントロールする YG 社独自技術が Hailey へも注ぎ込まれています。

音響上、理想的なフォルムの具現化と同時に、エンクロウジュアの不用共振は理想的なトランスデュースへの大きな妨げになります。

またドライバーより放射される 360°の球面波の空気振動にとって、平面形状のバッフルは空間再現、トランスペアレンシー再現にとって大きな障害となってしまいます。
ドライバーより放射される 360°音波伝達の理想的な放射を具現化する為に、フロント・バッフルは高度な理論に裏付けされコンピュータにより算出される極めて複雑な曲面に削り出されます。
このフォルム具現化と共振排除を達成する為にフロント・バッフルへは、最大 32mm 厚の航空機グレード アルミニュウム素材を採用。
また理想的フォルムの切削の為に、リア・バッフルへも同様の 32mm 厚アルミ素材が採用されています。
サイド パネルへは同じく、最大 13mm 厚航空機グレード アルミニュウムが採用され、コンピュータにより割り出される振動共振ポイントへ 5mm の補強厚リブが最小限に配置され、効果的に最大限の防振効果を達成しています。
この材料を防振加圧に基づき製造するで、音響的に最適なエンクロウジュア構造を達成できるのです。
Focused Elimination™防振加圧のアルゴリズムは 2 モジュール構成からなる Hailey のエンクロウジュア構造に於いて、モジュール/パネル毎に共振周波数が分析され、最適化されます。
結果、如何なる音量レベルに於いても、エンクロウジュア振動による再生音への悪影響から解放されるのです。

密閉型を前提に設計 / 開発される YG Acoustics 社スピーカー設計に於いて、極めて重要な要素の一つがドライバーにより生じるエンクロウジュア内部の背圧気流処理です。
我々はエンクロウジュア内部の背圧気流処理とアンチーレゾナンス達成が、メカニカル・ロスを向上させる最重要なキーと考えます。

エンクロウジュアへ使用される素材の質量、面積そして硬度を分析し、且つ各パネルが持つ固有共振周波数を分析し、組み合わされる事によって互いの振動をキャンセルするアゴリズム。
エネルギー損失する事無くキャビネット共振をコントロールするこの Focused Elimination™反共振技術は、逃げ場を持たない密閉型エンクロウジュア内部での気流を妨げる諸悪の根源である補強リブの使用を最小限に留め、平行面をも追放した理想的な内部デザインを確立しました。
背圧によって生じるエンクロウジュア内部の乱気流を最小限に抑え、ドライバーユニットをメカニカル・ロスから解放したのです。
エンクロウジュア内より一切の吸音/防振材をも排除。
吸音/防振マテリアルによるエネルギーの熱変換ロスすらも排除する事に成功しています。

■ 「ヴォイシング＝音決め」について

YG Acoustics 社のスピーカー開発工程に「音決め」作業は存在しません。
各種確認の為にリスニングテストは行いますが、人為的に音質変更作業は一切行われません。
「何も足さず、そして何も引かず」極めてシンプルに録音された情報をそのまま全て正確に伝達する。
それが YG Acoustics 社のスピーカー　システムなのです。

■ 安全にご使用頂くために

本機の性能を充分に引き出し、また安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。

■本機をご使用になる前に取り扱い説明書をお読み頂き、本機の機能、操作に関し御確認戴けます様、お願い致します。

■本機を接続もしくは外す際は、必ず接続される機器の電源をお切り下さい。

■お手入れの際は、乾いた綺麗な布で行って下さい。化学洗剤や可燃性のある溶剤または研磨剤が含まれる溶剤のご使用も絶対にお止め下さい。本機本体や仕上げにダメージを与える可能性があります。

■御自身で修理をする事は絶対にお止め下さい。
もし何かの異常が発生した場合は、お買い求めの販売店、もしくは ACCA まで御連絡下さい。

■スピーカーケーブルを接続する際に、スペードプラグ、バナナプラグが所定のバインディング・ポスト以外に接触せぬ様に、確実に固定して下さい。
YG 社製品のバインディング・ポストは赤が「＋」、シルバーが「－」です。

■本機を超高温/低温状態での放置は絶対にお控えください。

■屋外でのご使用はお控えください。

■本オーナーズ・マニュアルは保管される様、お願い致します。

■ 開梱する

Hailey™は木枠ケースに収納されており、梱包の状態で最大重量は 98kg に達します！

注意

※ 開梱の際、一人で持ち上げたり取り出したりする事は絶対にお止め下さい。
※ 必ずお買い求めの販売店、もしくは力のあるアシスタントと共に作業下さいます様、お願い致します。
※ また商品もしくはケース等で怪我をなさらぬよう、くれぐれもお気を付け下さい。
※ 予期せぬ怪我を回避する為に、可能な限り背筋を立てた状態にて脚力を中心に作業を行って下さい。
※ 腰が曲がった状態で重量物を持ち上げる事は極力避けて下さい。
思わぬ怪我を引き起こす可能性が高くなります。
※ 梱包ケースの取扱いはケース全体をサポートしながら行って下さい。 蓋を介して作業は行わないでください
※ Hailey™を梱包箱にて保管する際は、梱包箱を底面を下にして垂直に立てた状態で保管してください。
底面用以外の梱包箱内部のクッション材は、長期間に渡る固定加圧には耐えられません。

「開梱手順」

1). 木箱を底面を下に垂直に設置します。 その際に木箱にダメージ等が無いか確認して下さい。

2). フィリップス#2 の＋ドライバー(付属していません)を使用して、蓋の固定ネジを外します。
この時、箱と蓋を固定しているバンドはまだ外さないで下さい。

3). この状態から、蓋が下に来るように慎重に箱を倒します。 最低 2 名＋α以上で行って下さい。
もし回転中に蓋が大きく動く場合は、固定バンドを締め直して下さい。

4). 設置終了後、ここで固定バンドを外します。

5). 慎重に木箱を持ち上げて外します。 この作業も必ず 2 名以上で行って下さい。
この時点でフォームにて固定された本体を確認する事が出来ます。

6). 一名が一方の固定フォームを押さえ、もう一名(可能ならば 2 名)はフォームが確実に本体を固定しているかを確かめながら本体を垂直に起します。 起し終わった時に、本体が梱包箱の蓋から離れる様に調整しながら作業して下さい。 ここで蓋を安全な場所へ移動します。

⚠ 本体を起こす際にドライバーユニット、バインディング・ポスト、ドライバー保護ガイド等を傷つけぬ様、作業へは細心の注意を払って下さい。

7). 上側の固定フォームを慎重に外します。 本体を包んでいるビニール梱包はまだ外さないで下さい。

8). ここで本体を 1 台ずつ固定フォームから外していきます。
一名が残る側の本体を押さえたまま、もう 1 名(可能ならば 2 名)が本体を外すように行って下さい。

9). スピーカー本体を固定フォームから外した後、ビニール梱包を外します。
ここでもし傷などのダメージを発見した時は、速やかにお買い求めのディーラー、または ACCA へご連絡頂けます様、お願い致します。

※ 不測の事態等で修理が必要になった場合の為に、梱包箱はお手元に保管下さいます様、お願い致します。
元箱以外の手段で梱包、輸送されて本体にダメージを負った場合、保証対象外となります。

■ 梱包内容

木箱には下記の物が収められています。

※ 欠品があった場合は速やかにお買い求めの販売店、または ACCA へご連絡下さい。

1). Hailey 1.2 本体(1 箱つき 1 本)

2). 取扱説明書

3). 保証登録カード

4). 六角レンチ x 2 本(大 ＝ 本体パネルネジ用。 小 ＝ ドライバー固定ネジ用)

5). スパイク x 8 本

6). スパイク用プロテクター・ディスク x 8 枚(※)

(※) このプロテクター・ディスク(素材＝デルリン)は音質的、強度面の考慮は一切されていません。
セッティング、移動時の一時的(短時間)な用途のみにご使用下さい。

■ セッティング

再生パフォーマンスはリスニングルームの環境、スピーカーの設置に大きく左右されます。
次の「接続」「設置」ガイドラインをご参考下さい。

◆ 接続する

※ 接続の際は、全てのオーディオ機器の電源は OFF にして下さい。
※ 接続機器全てのポラリティ＋、－が確実に接続されている事をご確認下さい。
　スピーカー・ターミナルは赤が（＋）、シルバーが（－）となります。

 如何なる場合でも、（＋）と（－）のスピーカー・ターミナルがショートしない様にして下さい。

◆ 設置する

以下の設置方法は、Hailey™の再生が最適になる為の参考例です。
1）. 左右各スピーカーをリスニング・ポジションより等距離に設置します。
　この時、僅かに内振りになる様にセットして下さい。
2）. リスニングポイントに対し、ツイータが垂直になる様に仰角を調整します。
　傾きの調整はスパイクによって行います。 スパイクは、3 本もしくは 4 本の設定が可能です。
　但し 3 本にてご使用は不測の際に転倒する確率が高くなります。 予め御了承下さい。
　また高さ調整はスパイクの固定ネジを回す事で行います。
　この時にネジがスパイクを固定するのに十分な強度、及び長さを維持出来る範囲で行って下さい。

※ 各リスニングルームの環境に伴い設置環境も異なります。
　上記の設置方法は、YG Acoustics の一般的なガイドラインとお考え下さい。

■ お手入れについて

Hailey™のキャビネットは、極めて高品質な仕上げが施されており、定期的なメンテナンスは必要ありません。
お手入れの際は水を含ませた後、硬く絞った柔らかい布などで行って下さい。
指紋の跡や汚れ等があった場合は、上記の水拭きの後に素早く乾いた布で拭き取って下さい。
※ドライバーユニットやターミナルに水が掛らない様に注意して下さい。

■ トラブルシューティング

異音（歪み音等）が発生した場合は、他の機材、もしくはワイヤリング等の確認も行ってください。
全てのドライバーユニットから異音を発生していた場合は、Hailey™以外の装置の故障の可能性が極めて高いと考えられます。
全ての機材が良好と確認出来た場合、直ちに電源を切りお買い求めの販売店、または ACCA までご連絡下さい。

■ スパイクについて

Hailey™には高さ調整機能付きスパイクが付属しています(8 本)。

底板には 3 点支持、もしくは 4 点支持に対応する為のスパイク取り付けタップがあります。

3 点支持でご使用の場合のスパイク取り付けは、前 2 本、後 1 本(中央タップ)となります。

4 点支持での御使用時は、各コーナー4 個のタップへスパイクを取り付けて下さい(後中央タップはオープン)。

取り付け手順は、まず本体接続用ボルトを本体にねじ込み、その後本体を固定してください・

⚠ スパイクは 3 ピース構成になっています。

1. スパイク ボディ部 2. 本体接続用ボルト 3. スパイク シャフト

調整は全て 3. の中央部シャフトにて行って下さい。 その為にスパイクを本体に取り付ける前に、予めシャフト部を緩めておく事で、調整作業が行い易くなります。

スパイクのネジがスパイクを固定するのに十分な強度、及び長さを維持出来る範囲で行って下さい。

⚠ スパイク ボディ部での調整は絶対にお止め下さい。 重大な破損の原因になります。

※スパイクを取り付ける際は、2 名以上で行って下さい。

取り付けは、本体を横に若干傾け(可能であれば寝かせ)てから作業する事をお勧め致します。

またスパイクを取り付ける時には、過剰に締め付けない様にして下さい。

※スパイクの先端は非常に鋭利な形状をしています。

床等に傷が付く恐れがありますので、設置の際は一時的に付属のプロテクター・ディスクをご使用下さい。

■ 保護グリルについて

ウーファ、及びミッド・ウーファに取り付けられている保護用グリルは、他の(サランネットやパンチング・メタルタイプ)保護グリルに対し、音質への影響は極めて低く抑えられています。

とはいえ、最良の音質の為にはグリルを外してご使用する事をお勧め致します。

グリルは左右各 1 本(計 2 本)のネジで固定されています。 このネジを外し、グリルを取り外して下さい。

この時にネジやグリルがドライバーユニットを傷つけたりしない様に、作業は慎重に行って下さい。

⚠ 再度取り付ける際は、ネジの締めすぎに十分気を付けて下さい。

■ バインディング・ポスト(スピーカー・ターミナル)について

Hailey™へ使用されるスピーカー・ターミナルはノブ、スリーブ共に絶縁処理が施された YG 自社製ターミナルが採用されています。

この高品質ターミナルはスペード、バナナプラグの如何なる接続に於いて、最良の電気的接点を可能にします。

接続後にスピーカーケーブルに躓いたり、引っ張る様な環境が起らない様に引き回しには十分配慮して下さい。

このターミナルの接続力は極めて強く、もしこの様な事態が発生した場合にはスピーカーが転倒する危険すらあるからです。 Hailey™の大きさ、重量を考慮すると極めて危険です。

お手入れは、ケーブルを外してから、乾いた布等で磨いて下さい。

■ リスニングレベル

Hailey™にはハイパワー・レスポンスに対しても最適化されたネットワークと強靭な強度を持つドライバーユニットが搭載されています。

さらにコンピュータを駆使し厳選されるコンポーネント、様々なテストと相まみえて、Hailey™は一般的な使用方法に於いては破綻する事は無いと確信しております。

しかし民生用小型スピーカーとして開発された Hailey™は、超大音量での連続再生には限界はあります。

良い経験則として、歪み無くクリアに再生出来ている音量以上には、音量を上げないと言う事です。

機材をダメージから保護する為にも、再生音に歪みやストレスの様な音を感じたら即座に音量を下げて下さい。

試聴して苦痛や不快を感じる様な大音量での再生は、常識的に避けて下さい。

■ 主な仕様

Hailey™ ＝ 密閉型 3 ウェイ スピーカー システム

偏差	可聴帯域 ：+/-1.0dB 以下
ユニット間位相誤差	可聴帯域 ： 5 度以下
ドライバー	ツイータ ： Forge Core™（25mm）x 1
	ミッド・ウーファ ： Billet Core™（185mm）x 1
	ウーファ ： Billet Core™（250mm）x 1
フィルタ	YG ACOUSTICS 社製 DualCoherent™ フィルタ
	1.75kHz/65Hz 24dB oct
インピーダンス	通常 4Ω ミニマム 3Ω
周波数特性	20Hz～40kHz
（可聴帯域にて±0.7dB）	
音圧レベル	87dB/2.83V/1m
寸法（W x H x D/mm）	330(最大) x 1,220(スパイク含む) x 540
総重量（Kg）	77kg

※性能、品質向上の為に上記の仕様は予告なく変更される場合が御座います。 予め御了承下さい。

■ 保証について

- 本機は長期にわたって高い信頼性を発揮できるよう設計されておりますが、万が一、故障などのトラブルが発生した場合は、有限会社アッカのサービス･スタッフがサポートいたします。

- お客様自身による修理は絶対に行なわないでください。

- 修理のために製品をアッカに返送される際、事前にお電話で症状についお求めの販売店、もしくはアッカにご相談下さい。

- 製品をご返送される際、お買い求めの際に使われていた梱包材をご使用になりカートンに入れて下さい。これは保証サービスを受けていただくために絶対に必要な条件となります。

- 製品保証期間:1 年間

◆ 日本国内における製品保証について日本国内における本機の製品保証については、以下の規定が適用されます。

○ 保証
本機に用いられている材料や生産工程には充分な品質管理が施されていることを保証いたします。
製品の保証期間は初代の購入者による購入日から 1 年間です。
この保証は購入日から 30 日以内に同梱の保証登　録書をアッカにご返送いただいた場合にのみ適用されます。

○ 保証内容
取り扱い説明書に従わない使い方をした場合や乱暴に扱った場合、輸送中の事故や不注意、アッカ以外で修理や変更が加えられた製品に対しては、この保証は適用されません。
ご購入の販売店、またはアッカへ製品を返送される際、梱包･配送はお客様のご負担となります。

○ 修理
製品の故障が上記保証内容と条件に合致している場合、部品代や技術料はアッカが負担いたします。

○ その他
製品に対するいかなる保証についても保証期間中のみ有効です。なお、本機に接続された機器に対して付随的に発生した故障やその修理費用については、本保証ではいっさい適用されません。

※ この保証規定は英文の取扱説明書を含むすべての保証に関する記述に優先します。

輸入・発売元

有限会社アッカ
〒106-0031 東京都港区西麻布 1-15-1 森ロビル 7F
Tel.03-5785-0661Fax.03-5785-0662
www.accainc.jp